

# アラウンド GOGO 55



## 私の老後は？？？？

白石恵理子

もうすぐ80歳になる父がグ  
ループホームに入居した。

\*

数年前から認知症が進行し  
ていたが、一瞬前にご飯を食  
べたことも、トイレに行つた  
ことも記憶に残らないので、  
一日に何度も食卓につき、2、  
3分もしないうちにトイレに  
通い続けるようになっていた。  
デイサービスを利用しながら  
母が介護していたが、茶碗に  
水を入れて並べたり、ジャ―  
のふたをあけつばなしにした  
りと、毎晩続く珍事に母もさ  
すがに限界を感じてきてい  
た。その矢先に、「あさってか  
ら入居しますか？」と連絡が  
入り、心の準備をする間もな  
く慌ただしく入居となった。

父は昔から冗談を言つて人  
を笑わせるのが好きな人だつ  
た。商売をしていたことも  
あつて、とりわけ外づら(？)  
がいい。「今日行かん」とこ  
たつにもぐり込んでぐずつて

いても、デイサービスの職員  
さんがやってくると、「ご苦  
労さん、ご苦労さん」と愛想  
よく言つて出かけていく。母  
に対して、ニヤツと笑いな  
がら鼻をかんだティッシュを  
投げたりする。下着が汚れて  
いることを母が指摘すると  
「お前が、汚したんやろ」と言  
うのだが、母も負けじと「ど  
うやって、あんたのパンツに  
○○するのよ」と言い返す。  
そんなやりとりを聞いている  
と、思わず笑つてしまう。記

憶の力はほとんどなくなつて  
も、排泄の失敗が続いても、  
根つこのところにある「その  
人らしさ」はやっぱりあると  
妙に納得する。

\*

母は「いたずら小僧」がい  
なくなつて、最初はぼんやり  
していたようだが、ひと月も  
たつと、ゲートボールに出か  
けたり、貼り絵サークルに  
行つたりと新しい人間関係を  
広げている。そんな父と母の  
DNAを受け継ぐ私は、どん  
な老後を迎えるのだろうか  
と考えると、ちよつと楽しみで  
もある。そして、そんなこと  
を考える年になつたのだな  
あ…としみじみする今日この  
頃である。